

令和3年度 事業計画

令和2年度は、「第32回オリンピック競技大会（2020／東京）」及び「東京2020パラリンピック競技大会」の開催と相まって、訪日外国人旅行者4,000万人が達成できるものと期待をしておりました。さらに、群馬県内においては、9年振りとなる大型の観光キャンペーン「群馬デスティネーションキャンペーン」（群馬DC）が開催され、観光関連産業の発展とともに本県の観光振興が進展するものと期待しておりましたが、新年早々に国内でも発生した新型コロナウイルス感染症の急拡大により、各種イベント等の開催が制限を受け、さまざまな場面で人々の移動に自粛要請が発せられるなど、観光関連産業に限らず、社会全体に激震が走った1年となりました。

このため、当協会では、落ち込んだ県内の観光需要を喚起するため、県民の方に県内宿泊施設に泊まっていただくとともに、地域での消費拡大によって県全体を元気にするために実施された群馬県事業である「愛郷ぐんまプロジェクト“泊って！応援キャンペーン”」の事務局として、事業の円滑な推進に努めました。

また、当協会が運営する「外国人総合相談ワンストップセンター」においても、大幅に増加した県内に在住する外国人からの健康や医療等に係る相談に対応してまいりました。

新しく迎える令和3年度は、新型コロナウイルス感染症からの回復を図るため、「観光地域づくり法人」（いわゆるDMO法人）としての機能を生かしながら、データマーケティング体制の強化を図るとともに、観光による地域づくりや観光振興に向けた人材育成等に努め、ニューノーマルに対応した観光地振興に努めてまいります。

その中で、4月から6月にかけての実施が予定されている「アフターDC」については、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、「ググっとぐんま観光宣伝推進協議会」の事務局として、感染防止に努めたうえで群馬の魅力を発信し、誘客に努めてまいります。

物産振興については、地域物産振興協会や商業施設などとの連携を図り、魅力ある商品や食の発掘・育成・周知に努めるとともに、新たな販売戦略に基づいた販路拡大に努めてまいります。

さらに、国際化の推進にあたっては、「多文化共生・共創“群馬モデル”」に基づき、県や地域国際交流協会との連携を図りながら、経済、文化、地域づくりの担い手・仲間として、多様な外国人材の円滑かつ適正な受入れを支援するなど、国際交流・多文化共生の促進に努めてまいります。

また、県をはじめ各種団体等からの受託業務や国の競争的資金の獲得を積極的に行い自主財源の確保に努めます。

以上の事業を展開し、魅力のある地域づくりを更に推進します。

I 観光物産振興・推進事業（公益目的事業）

1 観光物産情報発信

（1）観光情報発信事業

1) Webによる観光情報発信 800千円（2年度 1,104千円）【県・市町村負担金事業】

群馬県内の最新観光情報を県内外に向けてリアルタイムに伝えるため、県や市町村、関係団体等と連携して情報収集を行い、ホームページやSNS等を通じて観光情報を発信する。

2) 観光情報誌制作 【県・市町村負担金事業】（休止）

（2）各種マスメディア活用誘客宣伝事業

1) ラジオ情報宣伝 8,200千円（2年度 6,384千円）【県・市町村負担金事業】

①FM群馬（放送日 金曜日）

県内各市町村観光担当課や観光協会等の職員がラジオ番組に出演し、イベントや最新情報などの宣伝PRを行う。

②NACK5（放送日 木曜日）

首都圏にリスナーが多いFM局を活用し、地域のイベントや最新情報を宣伝PRし、誘客に役立たせる。

2) 地域の魅力発信 3,500千円（新規事業）【県・市町村負担金事業】

マイクロツーリズムを推進するため、令和2年度事業「“グラマラスぐんま”SNSフォトコンテスト」で応募のあった画像を活用し、県内35市町村の新たな観光素材を、県内メディア（テレビ、新聞等）と連携してPRする。

2 観光誘客事業

（1）旅行エージェント対策事業 【県・市町村負担金事業】（休止）

（2）観光物産展等開催

1) 高速道路観光展 300千円（2年度 210千円）【県・市町村負担金事業】

車利用の観光客を対象に、冬のスノーシーズンの誘客を図るため各市町村等と連携して高速道路SAにおける観光展を開催する。

・開催時期：1月

・開催場所：上里SA（関越自動車道下り線）1回

2) 日本観光振興協会関東支部観光展参加 500千円（2年度 120千円）【県・市町村負担金事業】

日本観光振興協会関東支部の観光展参加、及び関東ブロック観光連盟協議会の一員として海外（台湾・台北）の観光展に参加し、観光PRを実施する。

・国内観光展・・・仙台駅構内コンコース（10月予定）

大宮駅構内コンコース（11月予定）

・海外観光展・・・台湾・台北世界貿易センター（10月予定）

3) オンラインツアー 990千円(新規事業)【県・市町村負担金事業】

新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、県内観光地等の魅力をオンラインで体験していただくツアーを企画・実施するとともに、県内の市町村等が実施するオンラインツアー情報をまとめた Web ページを制作する。

また、本県への観光を考えている人からの要望に応じ、観光パンフレット等を送付する。

(3) 旅行者向け情報発信事業

1) 高速道路エリアコンシェルジュ研修事業 100千円(2年度 180千円)【県・市町村負担金事業】

観光案内所機能を担ってもらうため、群馬県の入口にある関越自動車道上里 SA のエリアコンシェルジュを対象に県内観光地を熟知してもらうための視察研修を実施する。

(4) 山と歴史のぐんま観光事業 【県受託事業】(休止)

(5) 教育旅行・産業観光の推進(旧:群馬のリピーター獲得事業)

1,000千円(2年度 1,587千円)【県受託事業】

本県のものづくり産業の魅力を伝えるため、Web記事を制作して情報発信する。

(6) 負担金・拠出金

1) ググっとぐんま観光宣伝推進協議会負担金

16,300千円(2年度 20,000千円)

群馬県や市町村、観光関連団体等と連携して国内外から本県への誘客を図るため同協議会事業に対し負担金を拠出する。(※協議会事業は次のとおり)

① 広報宣伝

キャンペーンガイドブック、ポスター、公式サイト管理、ノベルティの作成

② 誘客対策

キャラバンの実施、観光展の開催、二次交通パンフレット作成活用、地域部会事業への助成

③ 受入体制整備

おもてなし講習会、地域部会との連携

2) 日本観光振興協会拠出金 1,200千円(2年度 1,200千円)

日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に拠出する。

(7) 群馬県スキー場経営者協会業務受託事業

1,944千円(2年度 2,430千円)【民間受託事業】

本県冬季観光産業のメインである県内スキー場の活性化と誘客等を効率的・広域的に実施するため、群馬県スキー場経営者協会の事務局業務を受託する。

(8) 誘客対策事業

1) 海外セールスプロモーション 500千円(2年度 588千円)【県補助事業】

海外からの更なる誘客を促進するため、現地へのセールスプロモーション、教

育旅行関係者招請事業や現地説明会参加などの誘客事業を実施する。

2) インバウンド人材配置 5,800千円(2年度 5,800千円)【県補助事業】

中国・台湾を中心とする東アジアからの誘客を進めるため、プロモーション事業や受入環境整備事業を実施する専門人材を配置する。

3) 外国人誘客のための施設登録制度運営 300千円(2年度 300千円)【県受託事業】

外国人旅行者におもてなしの心を伝え、快適に滞在出来る施設を「Gunma Excellence 施設」として登録するための審査業務を県から受託する。

4) MICE誘致・開催支援事業(新規事業) 6,000千円【県受託事業】

各種団体等の会議・研修・展示会等の誘致営業活動及びMICE開催の支援を行う。

3 観光物産事業育成支援事業

(1) 観光功労者表彰及び観光振興助成事業

150千円(2年度 163千円)【県・市町村負担金事業】

① 観光関係者功労者表彰

観光事業の発展に資することを目的に観光事業に功績のあった者を表彰する。

② 観光関係の行事等の後援及び賞の交付

地域の観光振興に有効と思われる行事を後援するとともに、それらの行事を実施する関係機関が行う表彰に対し賞状等を交付し支援する。

③ 愛郷ぐんまプロジェクト 泊まって！応援キャンペーン【県受託事業】(休止)

(2) 物産振興助成等情報交換事業 462千円(2年度 456千円)【自主事業】

① 各地域物産振興協会が中心となって開催する地域の物産展、新しい特産品掘り起こしのための展示即売会等の物産振興事業に対して助成する。

② 各地域物産振興協会や関係機関の主催する展示即売会や物産展等の物産振興事業に対して、後援や協賛を行う。

③ 地域物産振興協会等の会議開催により協会事業の説明及び情報収集・提供を行い、物産振興に寄与するためオンラインを活用するなどして、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した情報交換等を実施する。

また、各地域物産振興協会等の会員発掘と把握のため、会員名簿を作成する。

(3) 地域づくり・人材育成事業

1) 魅力ある観光地域づくり推進事業(群馬県域DMO機能強化)

40,495千円(2年度 33,495千円)【県受託・県補助事業】

県域観光地域づくり法人(DMO)として、市町村等へのコンサルティング、データプラットフォームの構築、ニューノーマル観光地づくりの支援や中核人材育成などの取組を実施する。

① 専門人材による市町村等へのコンサルティング

市町村等の課題を解決するため、データ分析に基づいた企画立案や施策提案等

を通じた、きめ細やかな伴走支援を行う人材を配置し、コンサルティング業務を行う。

② **データプラットフォーム構築**

観光入込客数などの観光統計調査や観光マーケティング調査を実施するほか、ビッグデータ等の各種データを収集することで、データ一元集約化によるデータプラットフォームを構築し、市町村等への情報提供やコンサルティング業務に活用する。

③ **ニューノーマル観光地づくり実装事業**

ニューノーマルな観光地づくりを推進するため、課題解決に向けた事業経費を補助する財政的支援やノウハウ提供等、専門的知識に基づく支援を行う。

④ **中核人材育成**

地域の観光地域づくりをリードする中核人材の育成を行うため、研修会「ぐんま観光リーダー塾」を開催する。

4 群馬県産品普及宣伝事業

(1) 県内物産カタログによる紹介宣伝事業 【自主事業】 (廃止)

(2) 品質及びデザインの向上促進及び指導に関する事業

1) 群馬県優良県産品推奨に対する協力 293千円(2年度 352千円)【自主事業】

県が「群馬県優良県産品推奨制度」により指定した推奨品の販売促進に資するため、推奨シールを普及する。

(3) 物産展等開催事業

1) 物産展等開催等 収入6,652千円 支出1,924千円

(2年度 収入10,000千円 支出4,000千円)【自主事業】

県内物産の紹介・宣伝及び販路拡大と認知度アップを図るため、県及び関係団体と連携しながら各種物産展等を県内外において開催する。

特に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した物産展開催を積極的に推進するとともに、新たな販路開拓の可能性についても検討を行う。

・開催回数 年間10回程度を予定。

2) 群馬県産品常設販売コーナー「ぐんまるしえ」の運営 (新規事業)

収入3,220千円 支出18千円【自主事業】

本県産品の紹介・宣伝・販路拡大及び県内物産業者の販路拡大・販売ノウハウの育成を図るため、民間の大型商業施設等と連携し、常設販売による本県産品等の紹介・宣伝・販売を行うとともに、販路拡大を推進する。

・常設販売開設・運営施設 イオンスタイル高崎・イオン太田店

(4) ぐんまの通販サイト「CASAぐんま」の運営 【自主事業】(終了)

(5) ぐんまカタログギフト販売事業 収入5,333千円 支出3,195千円

(2年度 収入4,421千円 支出2,037千円)【自主事業】

県内物産販売の新たな展開を図るため、「カタログギフト」を制作のうえ、幅広く販売する。

(6) ぐんまふるさと納税お礼品の提供事業

5, 150千円 (2年度 1,230千円) 【県受託事業】

群馬県に対する「ふるさと納税」のお礼の品を提供する事業を受託し、県産品の発送・納品を行う。

(7) 地域の食と土産の魅力向上事業 【県受託事業】(廃止)

II 国際化推進事業 (公益目的事業)

1 多文化共生支援事業

在住外国人に対し、県内全域を対象とした情報の収集・発信と多言語コミュニケーション支援を軸として、多文化共生社会へ向けた地域づくりを目指す。

(1) 「ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター」の運営

19, 926千円 (2年度 18,981千円) 【県受託事業】

業】

外国人生活・就労等に関する相談に、多言語及びやさしい日本語で速やかに応じ、適切な情報提供や取り次ぎを行うほか、国や市町村と連携し、情報共有や情報発信を行う。

開設時間 9:00～17:00 (月～金) 開設場所 群馬県庁昭和庁舎1階

① 窓口運營業務

英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語の相談員を配置し、外国人等の相談に多言語で応じる。

② 外国人のための専門相談

在住外国人からの各種相談に対し、多言語(英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語)により「弁護士、行政書士、社会保険労務士等による無料相談会」を市町村と連携し実施する。

③ 外国人相談実務者のための研修

外国人相談業務に携わる実務者を対象に、非常時の対応や相談対応における基礎や最新の制度改正等についてのスキルアップを図るとともに、他の相談機関との連携や相談員同士のネットワーク構築等を目的とした研修を実施する。

④ 多言語情報発信事業

ア 多言語WEBサイト及び多言語facebookの運営

外国人を対象とした生活情報を収集し提供する多言語サイトやfacebookを運営す

る。

イ 外国語情報誌「THE GUNMA GUIDE」発行

ネット環境にない外国人を対象に生活情報等を掲載した多言語情報誌を発行する。

発行回数：年4回

発行部数：各言語500部

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る多言語支援事業（新規事業）

3,000千円（2年度 3,202千円）【県受託事業】

業】

新型コロナウイルス感染症に関する外国人からの相談について、多言語で速やかに応じ正確な情報提供や取り次ぎを行うほか、県保健福祉事務所等と連携することにより、新型コロナウイルス感染症がまん延することを防ぐ。

2 国際交流・協力推進事業

県内の国際交流・協力活動の活性化を図るとともに、県民が参画する国際交流・協力活動の促進へ向けた環境整備を行う。

(1) 国際交流ボランティア人材バンクの運営事業

20千円（2年度 20千円）【自主事業】

6分野のボランティア（通訳・翻訳／ホームステイ／日本文化紹介／海外事情紹介／日本語支援／イベント協力）を登録し、県や市町村、公共団体の依頼に応じて紹介と派遣を行うとともに、訪日外国人インバウンドに向けたボランティアのネットワーク構築を行う。

(2) 国際交流団体等連携事業

1) 市町村国際交流協会等連絡会議 30千円（2年度 30千円）【自主事業】

県内各市町村国際交流協会等とのネットワーク構築強化を図るとともに、相互連携を深め、共通する課題に対する意見交換や情報共有を行う連絡会議を開催する。

2) 地域国際化協会連絡協議会事業 130千円（2年度 130千円）【自主事業】

（一財）自治体国際化協会と各都道府県の国際交流協会が構成する協議会に参加し、事業の連携や意見交換を図る。

(3) 県内国際交流・協力団体活動調査及び情報提供事業

12千円（2年度 12千円）【自主事業】

県内の各種国際交流・協力団体の構成、活動状況等の調査を行い、県民等からの問い合わせに対し情報提供を行う。

(4) 国際理解推進事業 30千円（2年度 30千円）【自主事業】

国際理解教育・国際協力に関する参加型セミナー等をJICAと連携し開催することにより、世界や地域の課題に目を向け、国際的な市民活動の活性化を図る。

3 外国人未払医療費対策事業 【県補助事業】（休止）

4 受託事業

（1）地域国際化推進サポート事業

1,494千円（2年度 1,494千円）【民間受託事業】

（一財）自治体国際化協会群馬県支部から業務を受託し、翻訳・通訳・情報収集・発信等の業務を行う。

（2）群馬県日本中国友好協会業務受託事業

800千円（2年度 500千円）【民間受託事業】

群馬県日本中国友好協会から業務を受託し、交流事業に伴う情報収集・発信等の業務を行う。

Ⅲ 旅行業事業（収益事業） 収入7,318千円 支出6,163千円

（2年度 収入6,837千円 支出5,665千円）

旅行業登録者として宿泊手配等を行う。

Ⅳ 観光施設事業（収益事業） 収入7,940千円 支出6,781千円

（2年度 収入8,307千円、支出8,181千円）

県立赤城公園内、榛名公園内において観光施設（厚生文教団地等、オートキャンプ場）の管理運営を行う。

V 財団の運営

1 理事会、評議員会の開催

事業計画、予算、その他の重要事項等について審議を行うため、理事会、評議員会を6月、3月に行う。また、必要に応じ臨時会を開催する。